

改訂日：2023年2月27日

Cisco HX データ プラットフォームのプレインストール チェックリスト

HyperFlex Edge 導入

Cisco HyperFlex Edge は、リモート オフィス/ブランチ オフィス (ROBO) 環境およびエッジ環境にシンプルなハイパーコンバージェンスを提供します。

Cisco HX Data Platform リリース 4.0 以降では、HyperFlex Edge の導入は、2 ノード、3 ノード、または 4 ノードエッジ クラスタに基づいて行うことができます。Cisco HyperFlex Edge 展開を開始する前に理解し、設定する必要がある主要な要件とサポートされているトポロジについては、「[Cisco HyperFlex Edge のインストール前チェックリスト](#)」を参照してください。

Cisco HyperFlex プレインストール インタラクティブ ツール

シスコでは、展開前の計画に HyperFlex プレインストール ツール <https://hxpreinstall.cloudapps.cisco.com/> を使用することを推奨しています。このツールを使用すると、HyperFlex クラスタ設定パラメータの収集と、Intersight SaaS または HyperFlex インストーラ VM への簡単な構成転送が可能になります。HyperFlex プレインストール ツールの機能と使用する利点は次のとおりです。

- インストールを開始する前にクラスタ構成を作成、検証できます。
- Microsoft Excel テンプレートを使用したマルチクラスタ インポート機能。
- クラスタ構成を Intersight SaaS に直接プッシュすると、クラスタプロファイルが自動的に作成される。
- HyperFlex OVA インストーラ VM で使用する JSON 設定ファイルをダウンロードできる。
- 構成の PDF レポートを記録保持用に作成できる。
- スケーリングを容易にするためにクラスタプロファイルを複製できる。

チェックリストの記入方法

これは、Cisco HyperFlex Systems の営業、サービス、およびパートナー向けの契約前チェックリストです。シスコは、システムの初期設定用のコンフィギュレーション ファイルを作成してタイムリーで正確なインストールを可能にするためにこのフォームを使用しています。



重要 HTML ページを使用してチェックリストに記入することはできません。

編集可能なフォームのローカル コピーのダウンロード

1. [Cisco HX Data Platform チェックリスト フォーム](#) をダウンロードします。
2. ローカル ファイルを開き、フォームに入力します。
3. フォームを保存します。
4. フォームをシスコ アカウント チームに返します。

連絡先情報

顧客アカウント チームおよび連絡先情報

名前	肩書	電子メール	電話
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			

機器の出荷先住所

会社名	
担当者名/部署	
住所 (1)	
住所 (2)	
市区町村、都道府県、郵便番号	
データセンターの階数および 部屋番号	

オフィスの住所 (出荷先住所と違う場合)

会社名	
担当者名/部署	
住所 (1)	
住所 (2)	
市区町村、都道府県、 郵便番号	

展開情報

HX Data Platform を展開し、クラスタを作成する前に、システムについて次の情報を収集します。

Cisco UCS ファブリック インターコネクト (FI) の情報

UCS クラスタ名	
FI クラスタの IP アドレス	
UCS FI-A の IP アドレス	
UCS FI-B の IP アドレス	
KVM の IP アドレス用のプール (HX ノードあたり 1 つのアドレスが必要)	
サブネット マスクの IP アドレス	
デフォルト ゲートウェイの IP アドレス	
MAC プールのプレフィックス (16 進文字を 2 つ入力)	00:25:B5:
UCS Manager のユーザ名	admin
Password	

VLAN 情報

ファブリック インターコネクトに VLAN ID をタグ付けします。



重要 予約済み VLAN ID : 4030 から 4047 および 4094 から 4095 の ID を持つ VLAN が UCS で予約されています。この範囲の ID を持つ VLAN を使用することはできません。Cisco UCS Manager リリース 4.0 (1d) までは、VLAN ID 4093 が予約済み VLAN のリストに含まれていました。VLAN 4093 が予約済み VLAN のリストから削除され、設定可能になっています。

指定する VLAN ID は使用しているアップリンク スイッチでもサポートされている必要があります。たとえば、VLAN ID 3968～4095 は Nexus スイッチによって予約され、VLAN ID 1002～1005 は Catalyst スイッチによって予約されています。HyperFlex で使用する VLAN ID を決定する前に、その同じ VLAN ID がアップリンク スイッチで使用可能であることを確認してください。

ネットワーク	VLAN ID	VLAN 名	説明
次の各ネットワークにそれぞれ個別のサブネットと VLAN を使用します。			
VMware ESXi および Cisco HyperFlex (HX) 管理用 VLAN		ハイパーバイザ管理ネットワーク ストレージ コントローラの管理 ネットワーク	ESXi、HX、および VMware vCenter 間の管理トラフィック用に使用され、ルーティング可能である必要があります。
HX ストレージトラフィック用の VLAN		ハイパーバイザ データ ネット ワーク ストレージ コントローラの管理 ネットワーク	ストレージトラフィック用に使用され、L2 が必要です。
VLAN for VM VMware vMotion		vswitch-hx-vmotion	vMotion VLAN に使用されます (該当する場合)。
VLAN for VM network		vswitch-hx-vm-network	VM/アプリケーション ネットワークに使用されます。

顧客導入情報

OVF インストーラ アプライアンスを使用して HX Data Platform を展開します。インストーラ アプライアンスをホストするには、vCenter HX Cluster のメンバーではない ESXi サーバーが別途必要です。インストーラでは、管理ネットワークの IP アドレスが 1 つ必要です。

インストーラ アプライアンスの IP アドレスは、ハイパーバイザとストレージ コントローラ VM で使用される管理サブネットから到達可能である必要があります。インストーラアプライアンスは、ESXi ホストまたはクラスタインストールの一部ではない VM Player/VMware Workstation で実行する必要があります。さらに、HX Data Platform Installer VM の IP アドレスは HX ホストが追加されている Cisco UCS Manager、ESXi、および vCenter の IP アドレスで到達可能であることも必要です。

インストーラ アプライアンスの IP アドレス	
-------------------------	--

ネットワーク IP アドレス



- 注**
- /24 より大きいネットワークの 169.254.X.X の範囲にあるデータ ネットワーク IP はサポートされていないため、使用しないでください。
 - 169.254.254.0/24 の範囲にあるデータ ネットワーク IP アドレスは使用できません。

管理ネットワークの IP アドレス (ルーティング可能であること)		データ ネットワークの IP アドレス (ルータブルである必要はない)		
重要 正常にインストールするためには、データと管理ネットワークが異なるサブネット上にあることを確認します。				
ESXi ホスト名*	ハイパーバイザ管理ネットワーク	ストレージ コントローラの管理ネットワーク	Hypervisor データ ネットワーク (Cisco Intersight には必要ありません) ¹	ストレージ コントローラ データ ネットワーク (Cisco Intersight には必要ありません) ²
サーバ 1 :				
サーバ 2 :				
サーバ 3 :				
サーバ 4 :				
サーバ 5 :				
	ストレージ クラスターの管理 IP アドレス		ストレージ クラスター データの IP アドレス	
	サブネット マスクの IP アドレス		サブネット マスクの IP アドレス	
	デフォルト ゲートウェイの IP アドレス		デフォルト ゲートウェイの IP アドレス	

¹ データネットワーク IP は、MAC アドレスプレフィックスに基づき、169.254.X.0/24 サブネットに自動的に割り当てられます。

² データネットワーク IP は、MAC アドレスプレフィックスに基づき、169.254.X.0/24 サブネットに自動的に割り当てられます。

* ホストごとに DNS の転送レコードと逆引きレコードが作成されていることを確認します。DNS レコードが存在しない場合、ホストは FQDN の代わりに IP アドレスで vCenter に追加されます。

VMware vMotion ネットワーク IP アドレス

VMware vMotion ネットワークの IP アドレス (ソフトウェアで構成されない)
.
.
.
.
.

ハイパーバイザのクレデンシャル

root ユーザー名	root
root パスワード	

VMware vCenter の構成



注 HyperFlex は標準ポートを介して vCenter と通信します。ポート 80 はリバース HTTP プロキシに使用されます。ポート 443 は vCenter SDK へのセキュア通信に使用され、変更することはできません。

vCenter FQDN または IP アドレス	
vCenter 管理ユーザー名 <i>username@domain</i>	
vCenter 管理パスワード	
vCenter データセンターの名前	
VMware vSphere コンピューティング クラスタおよびストレージ クラスタの名前	

シングル サインオン (SSO)

SSO サーバの URL* <ul style="list-style-type: none">この情報は、SSO URL が到達可能でない場合のみ必要です。これは、ESXi バージョン 6.0 以降は自動的に実行されます。	
---	--

* SSO サーバ URL は、vCenter の [vCenter サーバ (vCenter Server)] > [管理 (Manage)] > [詳細設定 (Advanced Settings)] のキー *config.vpxd.sso.sts.uri* にあります。

ネットワーク サービス



- 注
- 少なくとも 1 個の DNS および NTP サーバが、HX ストレージ クラスタの外部存在する必要があります。
 - 現時点では、信頼性の高いソースを提供するには、内部でホストされている NTP サーバを使用してください。
 - すべての DNS サーバは、展開を開始する前に、ESXi の各ホストについて順方向 (A) および逆方向 (PTR) の DNS レコードを事前設定しておく必要があります。DNS を前もって正しく設定しておけば、ESXi ホストを、IP アドレスではなく FQDN で vCenter に追加できます。
この手順をスキップした場合には、ホストは IP アドレスで vCenter インベントリに追加され、ユーザーは「[vCenter クラスタのノードの識別方法を IP から FQDN に変更する](#)」で説明されている手続きに従って、FQDN に変換することが必要になります。
 - **カスタム HyperFlex コントローラのホスト名** : HyperFlex コントローラ VM のカスタムホスト名を設定する場合は、導入を開始する前に、各コントローラ管理 IP の DNS レコードを順方向 (A) および逆方向 (PTR) に事前設定してください。有効な DNS レコードが見つからない場合、インストーラはコントローラのホスト名を「SpringpathController」と 10 桁のランダムな数字/大文字に設定します。

DNS サーバ <Primary DNS Server IP address, Secondary DNS Server IP address, ...>	
NTP サーバ <Primary NTP Server IP address, Secondary NTP Server IP address, ...>	
タイムゾーン 例 : US/Eastern、 US/Pacific	

コネクテッド サービス

[コネクテッドサービスの有効化 (Enable Connected Services)] (推奨) [はい (Yes)] または [いいえ (No)] が必要	
サービス要求通知用の電子メール 例 : name@company.com	

Cisco TAC への連絡

問題解決時間を短縮するために Cisco Technical Assistance Center (TAC) のケースをオープンして、Cisco PRIME コラボレーション アプリケーションから直接効率的なサポートを受けることができます。

シスコテクニカルサポートでは、有効なシスコサービス契約を保有しているすべてのお客様、パートナー様、リセラー様、ディストリビュータ様向けに、高い評価を得ている 24 時間対応のテクニカルサポートサービスを提供します。シスコテクニカルサポートの Web サイトでは、シスコの製品およびテクノロジーに関する技術上の問題のトラブルシューティングや解決に役立つオンラインドキュメントやツールを提供しています。

<http://www.cisco.com/techsupport>

TAC Support Case Manager オンライン ツールを利用することで、最も素早く S3 および S4 のサポート ケースを開くことができます (S3 および S4 のサポート ケースは、最小限のネットワーク障害の問題と製品情報要求から構成されます)。状況を説明すると、TAC Support Case Manager が推奨する解決方法を自動的に提供します。推奨リソースを使用しても問題を解決できなかった場合、TAC Support Case Manager はそのサポート ケースを Cisco TAC のエンジニアに割り当てます。以下の場所から、TAC Support Case Manager にアクセスできます。

<https://mycase.cloudapps.cisco.com/case>

S1 または S2 のサポート ケースに関して、またはインターネット アクセスがない場合は、電話で Cisco TAC にご連絡ください (S1 または S2 のサポート ケースはサービスの低下や停止など、製品ネットワークの問題で構成されます)。S1 および S2 のサポート ケースには Cisco TAC のエンジニアがすぐに割り当てられて、事業運営を円滑に続行できるようにします。

電話でサポート ケースを開く場合は、次のいずれかの電話番号をご利用ください。

- アジア太平洋地区 : +61 2 8446 7411
- オーストラリア : 1 800 805 227
- EMEA : +32 2 704 5555
- USA: 1 800 5532447

エンタープライズ製品とサービス プロバイダー製品の Cisco TAC のな連絡先の詳細なリストについては、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html> を参照してください。

Cisco Small Business Support Center (SBSC) の連絡先の詳細なリストについては、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-small-business-support-center-contacts.html> を参照してください。



シスコシステムズ合同会社
Cisco Systems, Inc.
San Jose, CA 95134-1706
USA

アジアパシフィック本社
CiscoSystems(USA)Pte.Ltd. シ
ンガポール

ヨーロッパ本社
CiscoSystemsInternationalBV
Amsterdam, The Netherlands

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号については、シスコの Web サイト www.cisco.com/go/offices をご覧ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。